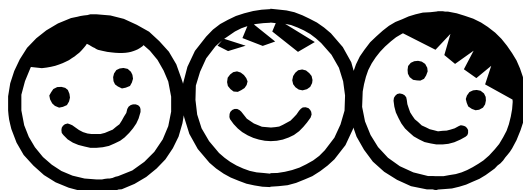


高 校 生 の 男 女 共 同 参 画 と 男 女 間 の 暴 力 に 関 す る ア ン ケ ー ト 調 査 結 果 に つ い て



令和2年1月

鹿角市市民部市民共動課

調査の概要

1. 調査目的

男女共同参画社会の実現に向けて、男女共同参画について考えるきっかけづくりや人権教育の推進などを図り、男女がそれぞれを認め合い、思いやる関係の構築と格差・差別、暴力のない社会を目指すため、DVについての認識を浸透させていきたいと考えています。

本調査では、高校生における男女共同参画と異性に対する暴力の意識に関する実態の把握を行うことで、今後の若年層に向けた男女共同参画事業の参考とし、男女共同参画施策に役立てていくことを目的としています。

2. 調査対象

鹿角市内の公立高校である花輪高校1年生、十和田高校2年生を対象としました。

3. 調査方法

鹿角市内の協力校に対して、調査票の配付・回収を行いました。

クラス担任を通じて生徒に調査票を配付してもらい、調査票の記入後、回収用封筒に入れ回収を行いました。

4. 調査期間

令和元年12月2日（月）から12月27日（金）まで

5. 調査内容

- ・男女共同参画に関する用語の認知度について・・・・・・・・・・P 1
- ・学校における男女共同参画について・・・・・・・・・・P 3
- ・結婚、家庭、離婚に対する考え方について・・・・・・・・・・P 4
- ・デートDVについて・・・・・・・・・・P 9
- ・DV行為に対する意識について・・・・・・・・・・P 11
- ・DV行為に関する相談機関について・・・・・・・・・・P 25
- ・性別に関わらず、生きやすい社会にするために必要なことについて・・・・P 26

6. 調査結果

調査票送付数	183
調査票回収数	178
回 収 率	97.3%

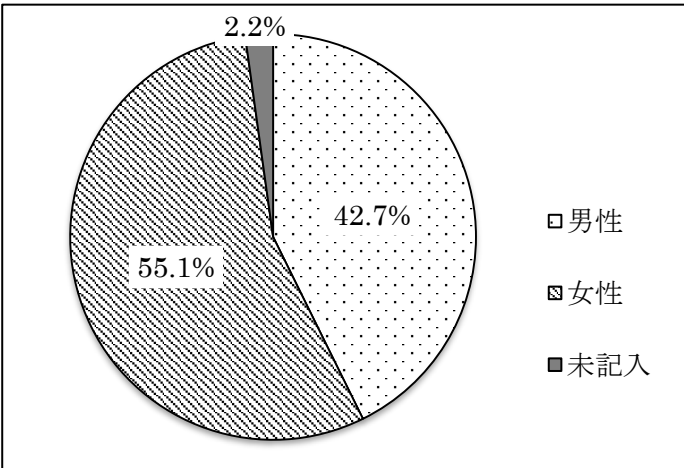
7. アンケート集計結果の公表について

本調査の集計結果は、各校に配付するほか、市ホームページ上で公開します。また、鹿角市男女共同参画推進会議に報告するとともに、必要に応じて市民に周知し、若年層に向けた男女共同参画施策の企画立案の基礎資料といたします。

○回答者の属性

問1. あなたの性別は。

	人数 (人)	割合 (%)
男 性	76	42.7
女 性	98	55.1
未 記 入	4	2.2
計	178	100



○調査の結果

※性別について、未記入者の回答も全体の値に含む

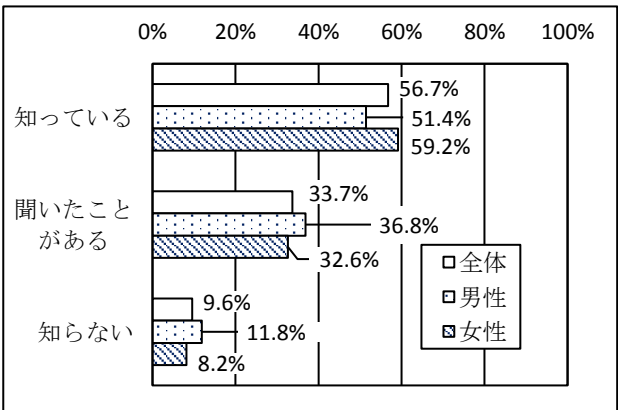
・男女共同参画に関する用語の認知度について

問2. あなたは、次のような用語について知っている、または聞いたことがありますか。

(1) 男女共同参画社会

5割以上の生徒が「知っている」と回答しました。

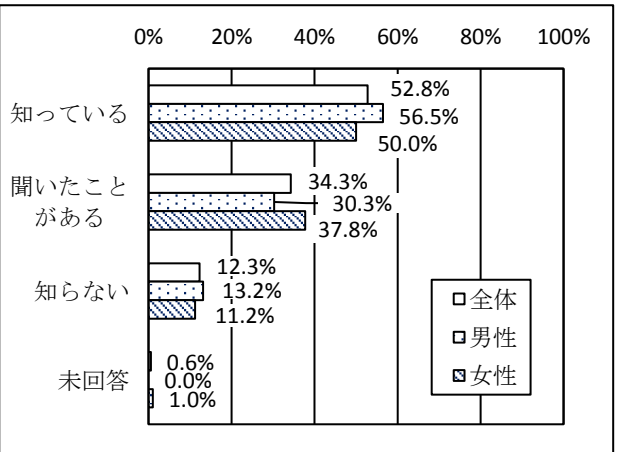
	全体		男性		女性	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
知っている	101	56.7	39	51.4	58	59.2
聞いたことがある	60	33.7	28	36.8	32	32.6
知らない	17	9.6	9	11.8	8	8.2
計	178	100	76	100	98	100



(2) ワーク・ライフ・バランス

約5割の生徒が「知っている」と回答しました。

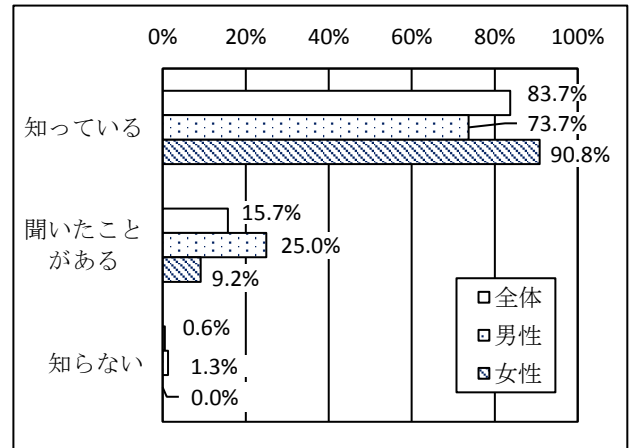
	全体		男性		女性	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
知っている	94	52.8	43	56.5	49	50.0
聞いたことがある	61	34.3	23	30.3	37	37.8
知らない	22	12.3	10	13.2	11	11.2
未回答	1	0.6	0	0.0	1	1.0
計	178	100	76	100	98	100



(3) DV

約8割の生徒が「知っている」と回答しました。

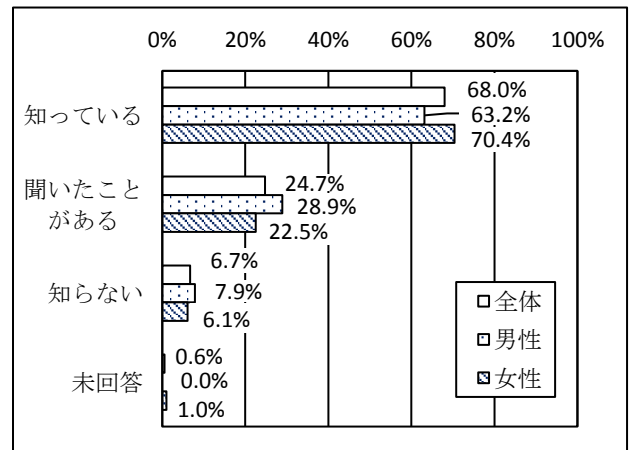
	全体		男性		女性	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
知っている	149	83.7	56	73.7	89	90.8
聞いたことがある	28	15.7	19	25.0	9	9.2
知らない	1	0.6	1	1.3	0	0.0
計	178	100	76	100	98	100



(4) 育児・介護休業法

6割以上の生徒が「知っている」と回答しました。

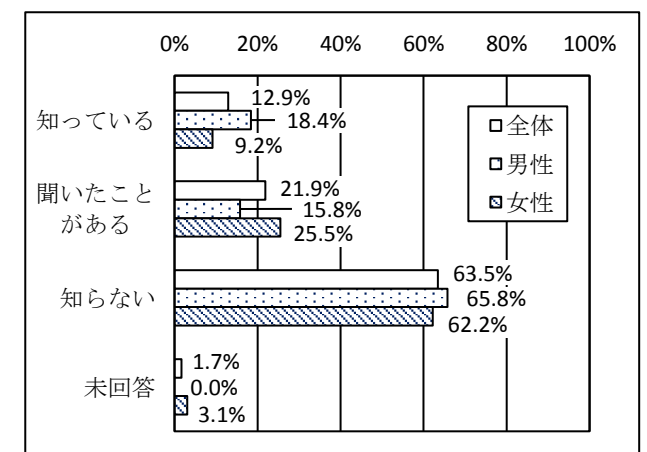
	全体		男性		女性	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
知っている	121	68.0	48	63.2	69	70.4
聞いたことがある	44	24.7	22	28.9	22	22.5
知らない	12	6.7	6	7.9	6	6.1
未回答	1	0.6	0	0.0	1	1.0
計	178	100	76	100	98	100



(5) 固定的性別役割分担

約6割の生徒が「知らない」と回答しました。

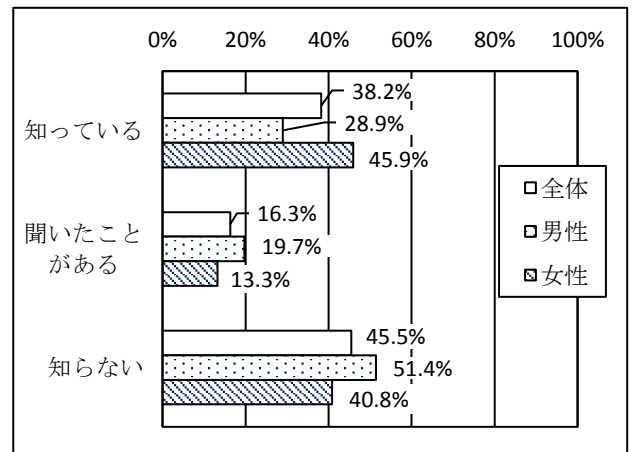
	全体		男性		女性	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
知っている	23	12.9	14	18.4	9	9.2
聞いたことがある	39	21.9	12	15.8	25	25.5
知らない	113	63.5	50	65.8	61	62.2
未回答	3	1.7	0	0.0	3	3.1
計	178	100	76	100	98	100



(6) L G B T

4割以上の生徒が「知らない」と回答しました。

	全体		男性		女性	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
知っている	68	38.2	22	28.9	45	45.9
聞いたことがある	29	16.3	15	19.7	13	13.3
知らない	81	45.5	39	51.4	40	40.8
計	178	100	76	100	98	100

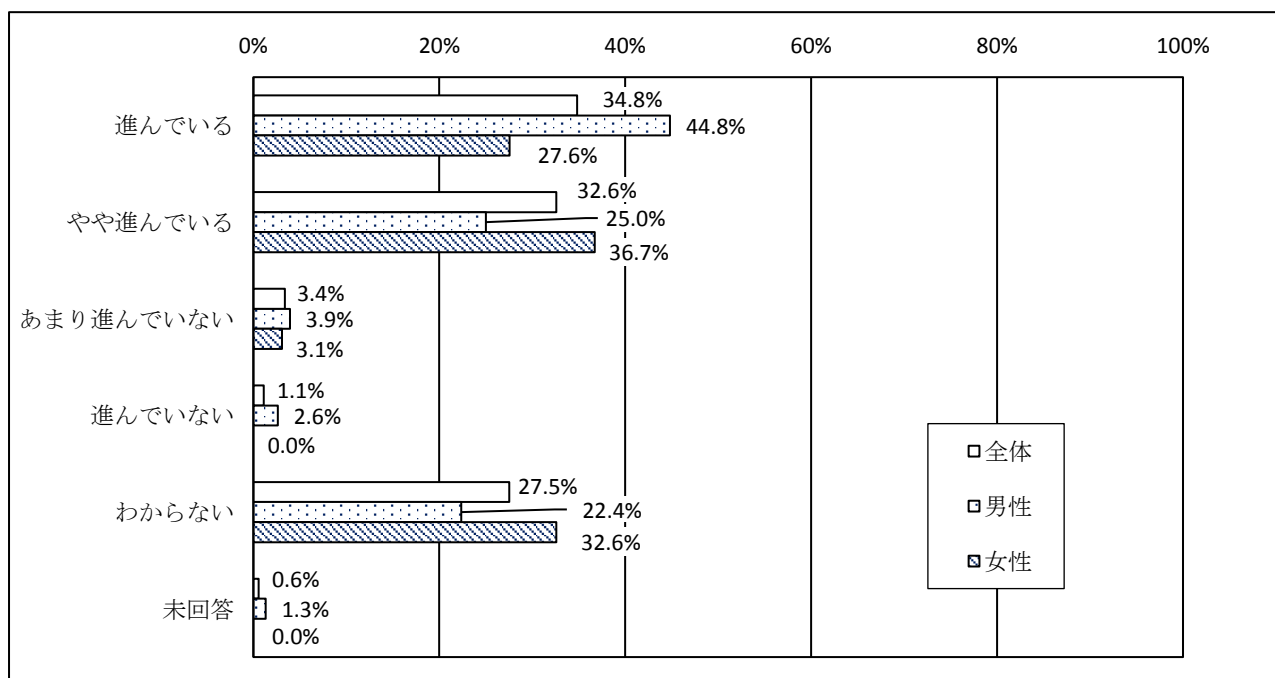


・学校における男女共同参画について

問3. 学校において男女共同参画は進んでいると思いますか。

6割以上の生徒が「進んでいる」または「やや進んでいる」と回答し、男性の割合が高くなっています。

	全体		男性		女性	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
進んでいる	62	34.8	34	44.8	27	27.6
やや進んでいる	58	32.6	19	25.0	36	36.7
あまり進んでいない	6	3.4	3	3.9	3	3.1
進んでいない	2	1.1	2	2.6	0	0.0
わからない	49	27.5	17	22.4	32	32.6
未回答	1	0.6	1	1.3	0	0.0
計	178	100	76	100	98	100



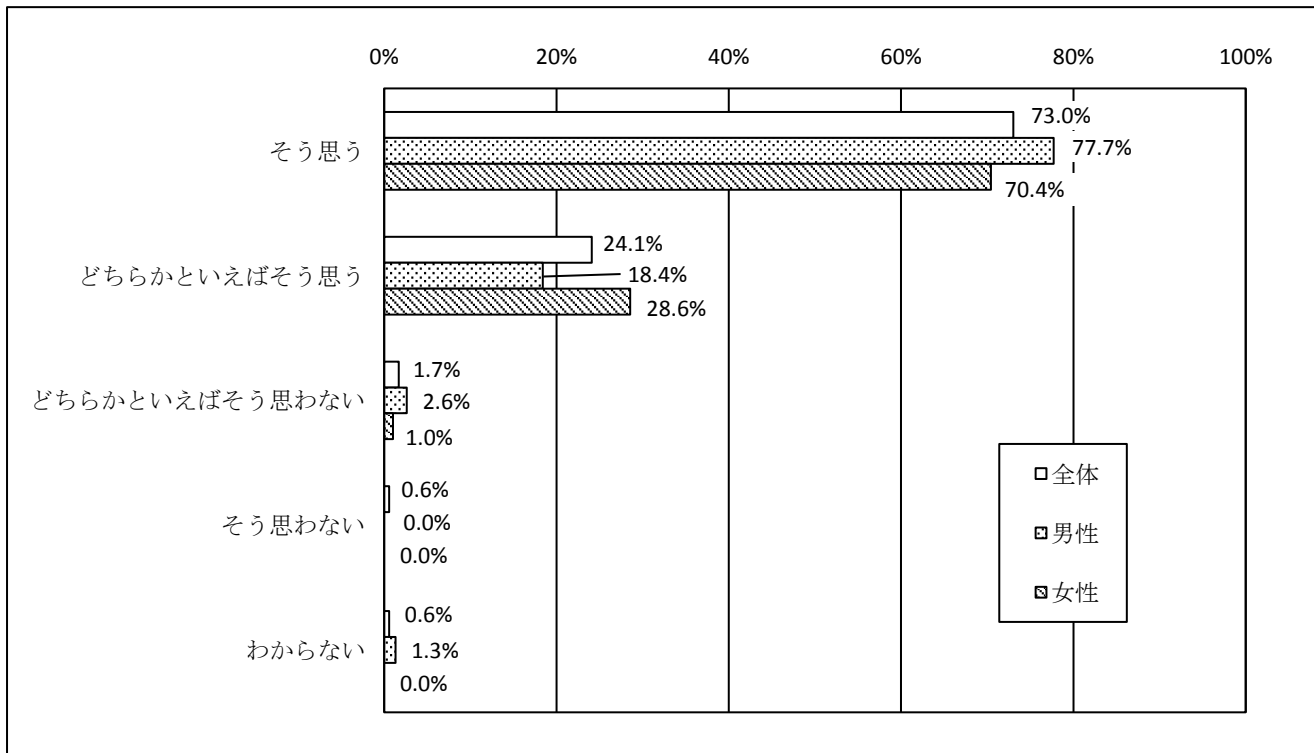
・結婚、家庭、離婚に対する考え方について

問4. 結婚、家庭、離婚について、あなたの意見を教えてください。

(1)結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい

9割以上の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答しました。

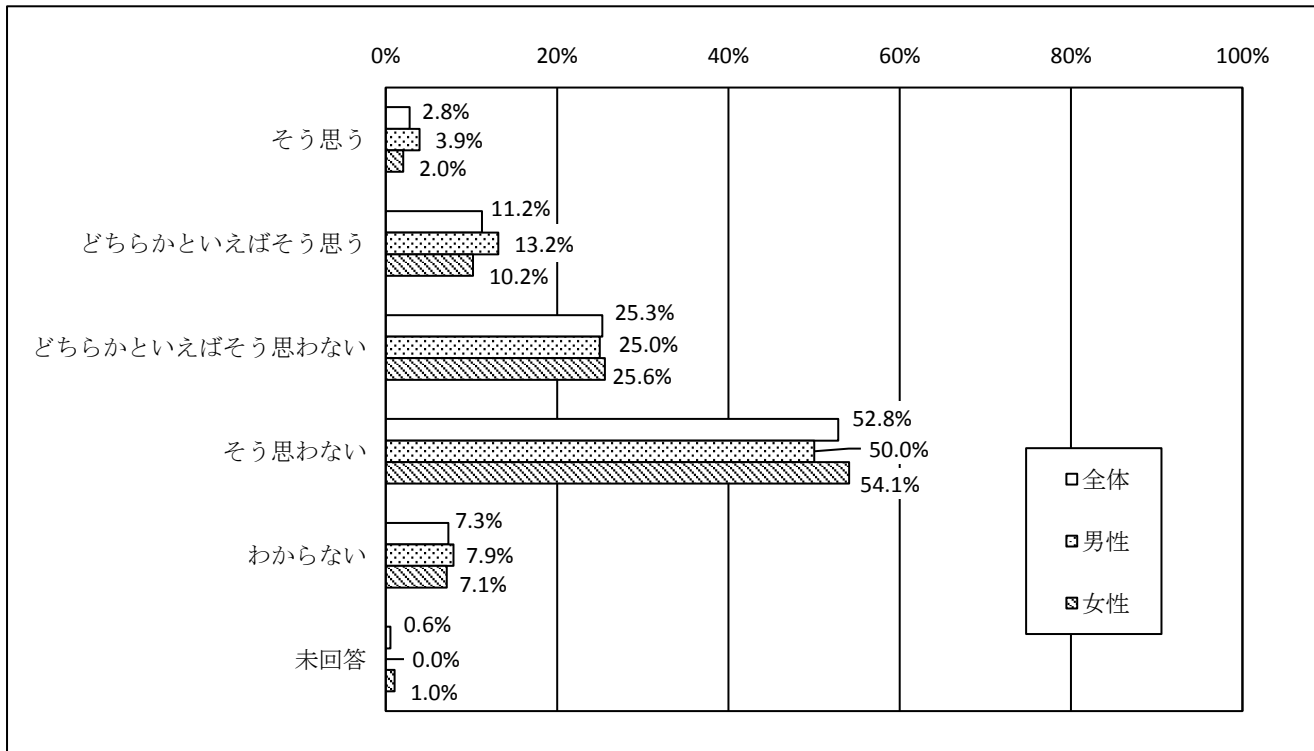
	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	130	73.0	97.1	59	77.7	96.1	69	70.4	99.0
どちらかといえばそう思う	43	24.1		14	18.4		28	28.6	
どちらかといえばそう思わない	3	1.7	2.3	2	2.6	2.6	1	1.0	1.0
そう思わない	1	0.6		0	0.0		0	0.0	
わからない	1	0.6		1	1.3		0	0.0	
計	178	100		76	100		98	100	



(2) 夫は外で働き、妻は家庭を守るほうがよい

7割以上の生徒が「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答し、女性の割合が高くなっています。

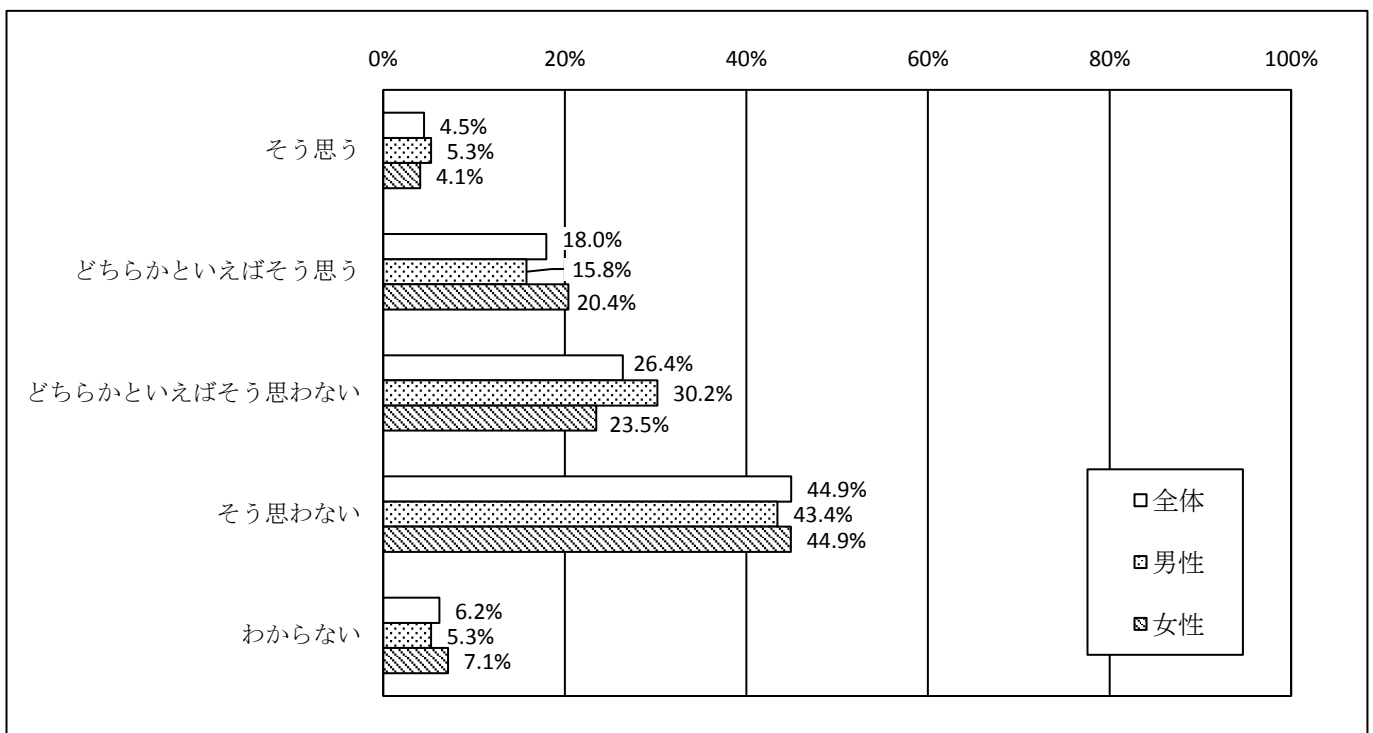
	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	5	2.8	14.0	3	3.9	17.1	2	2.0	12.2
どちらかといえばそう思う	20	11.2		10	13.2		10	10.2	
どちらかといえばそう思わない	45	25.3	78.1	19	25.0	75.0	25	25.6	79.7
そう思わない	94	52.8		38	50.0		53	54.1	
わからない	13	7.3		6	7.9		7	7.1	
未回答	1	0.6		0	0.0		1	1.0	
計	178	100		76	100		98	100	



(3) 女性は結婚したら、自分自身のことより、夫や子どもなど家庭を中心に考えて生活したほうがよい

約7割の生徒が「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答し、男性の割合が高くなっています。

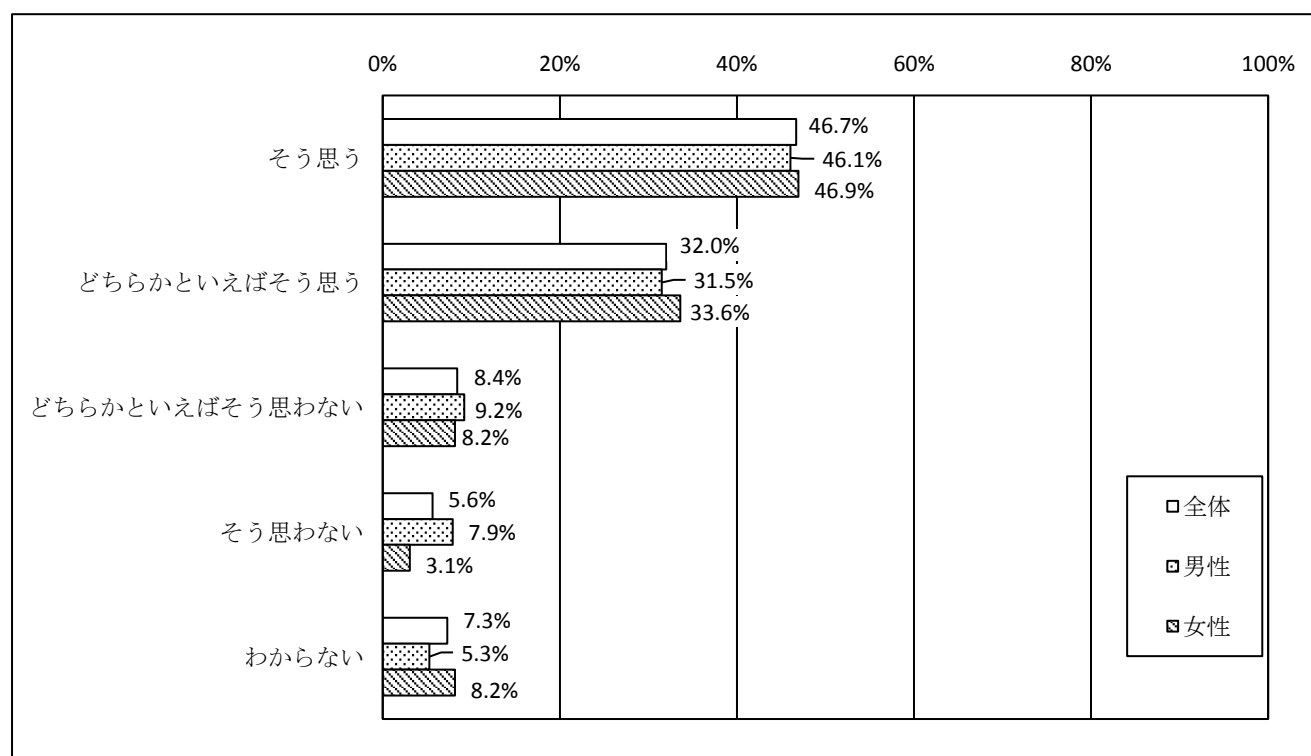
	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	8	4.5	22.5	4	5.3	21.1	4	4.1	24.5
どちらかといえばそう思う	32	18.0		12	15.8		20	20.4	
どちらかといえばそう思わない	47	26.4	71.3	23	30.2	73.6	23	23.5	68.4
そう思わない	80	44.9		33	43.4		44	44.9	
わからない	11	6.2		4	5.3		7	7.1	
計	178	100		76	100		98	100	



(4) 結婚しても必ず子どもを持つ必要はない

7割以上の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答し、女性の割合が高くなっています。

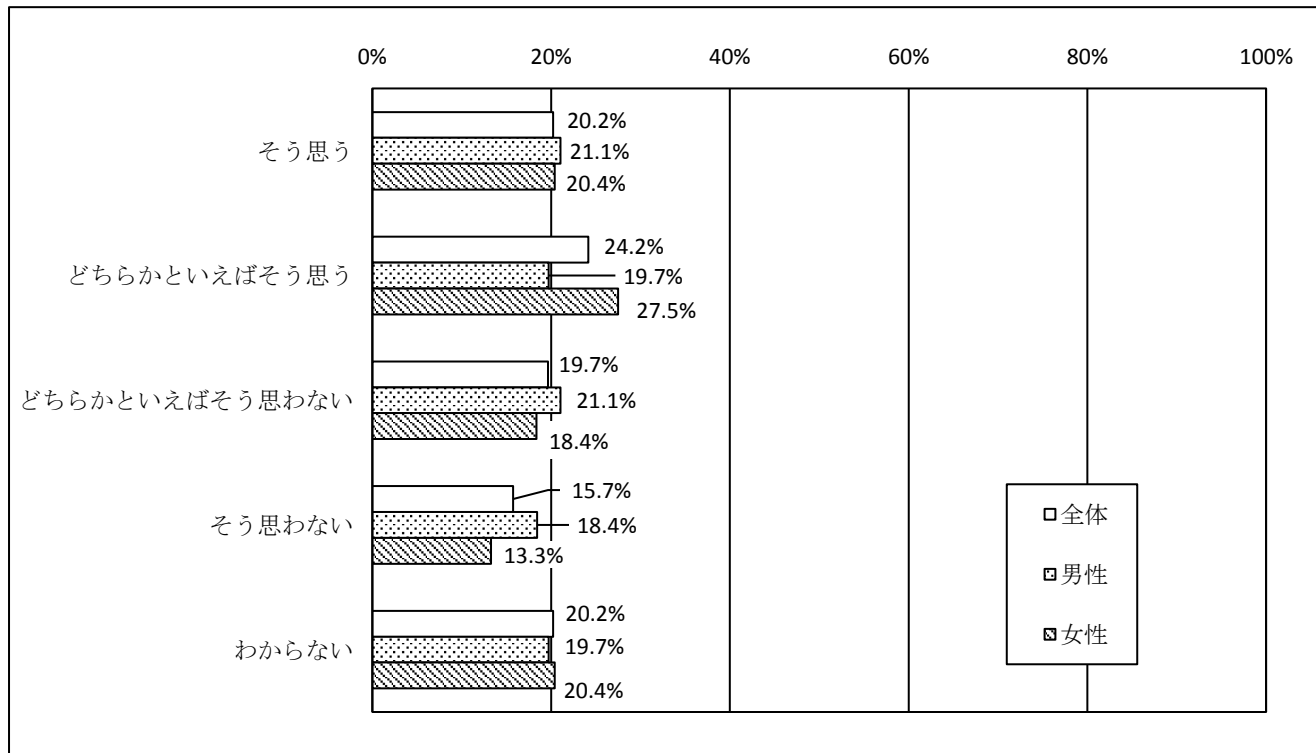
	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	83	46.7	78.7	35	46.1	77.6	46	46.9	80.5
どちらかといえばそう思う	57	32.0		24	31.5		33	33.6	
どちらかといえばそう思わない	15	8.4	14.0	7	9.2	17.1	8	8.2	11.3
そう思わない	10	5.6		6	7.9		3	3.1	
わからない	13	7.3		4	5.3		8	8.2	
計	178	100		76	100		98	100	



(5)結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい

約4割の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答し、女性の割合が高くなっています。

	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	36	20. 2	44. 4	16	21. 1	40. 8	20	20. 4	47. 9
どちらかといえばそう思う	43	24. 2		15	19. 7		27	27. 5	
どちらかといえばそう思わない	35	19. 7	35. 4	16	21. 1	39. 5	18	18. 4	31. 7
そう思わない	28	15. 7		14	18. 4		13	13. 3	
わからない	36	20. 2		15	19. 7		20	20. 4	
計	178	100		76	100		98	100	



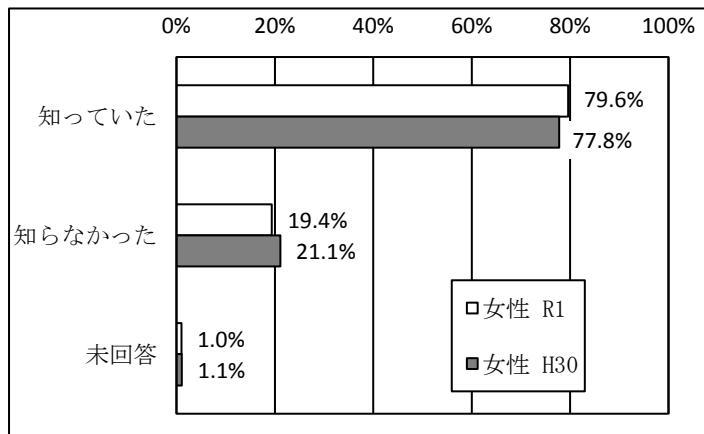
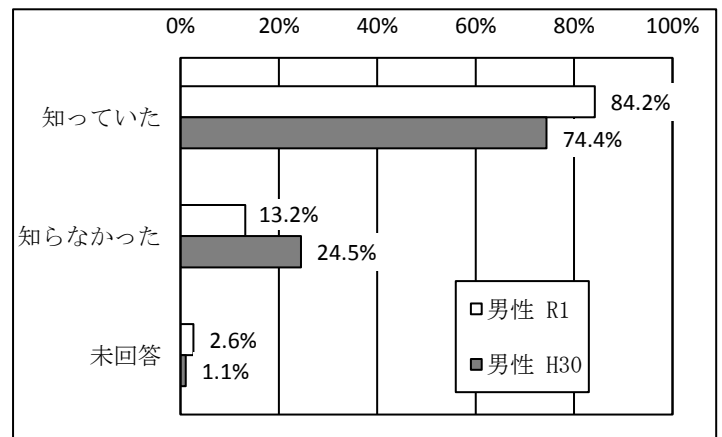
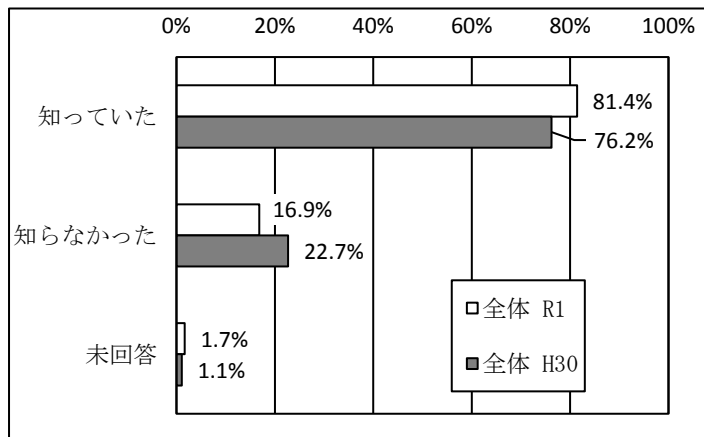
・デートDVについて

問5. あなたは、デートDVという言葉を知っていますか。

「デートDV」について、約8割の生徒が「知っていた」と回答し、前回調査時（平成30年）より高くなっています。

	全体				男性				女性			
	R1		H30		R1		H30		R1		H30	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
知っていた	145	81.4	141	76.2	64	84.2	70	74.4	78	79.6	70	77.8
知らなかった	30	16.9	42	22.7	10	13.2	23	24.5	19	19.4	19	21.1
未回答	3	1.7	2	1.1	2	2.6	1	1.1	1	1.0	1	1.1
計	178	100	185	100	76	100	94	100	98	100	90	100

※鹿角市男女共同参画計画の評価指標であることから、前回調査時との比較を実施。

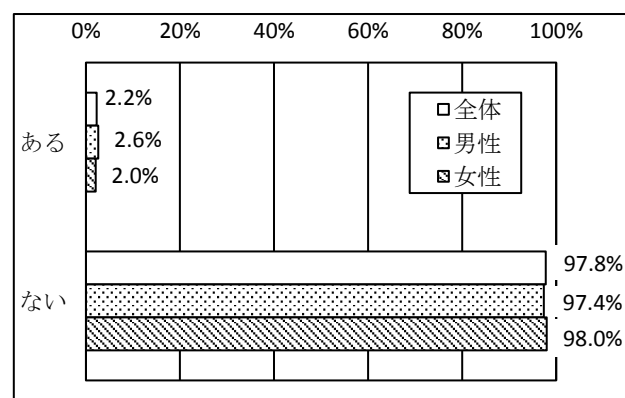


※デートDV:結婚していない男女の間で、親密な相手を自分の思い通りに動かす為に使われる、身体や言葉、態度によるあらゆる種類の暴力のことをいいます。

問6. あなたは、これまでに交際相手からデートDVと思われる行為を受けたことがありますか。

9割以上の生徒が「ない」と回答しました。

	全体		男性		女性	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
ある	4	2.2	2	2.6	2	2.0
ない	174	97.8	74	97.4	96	98.0
計	178	100	76	100	98	100

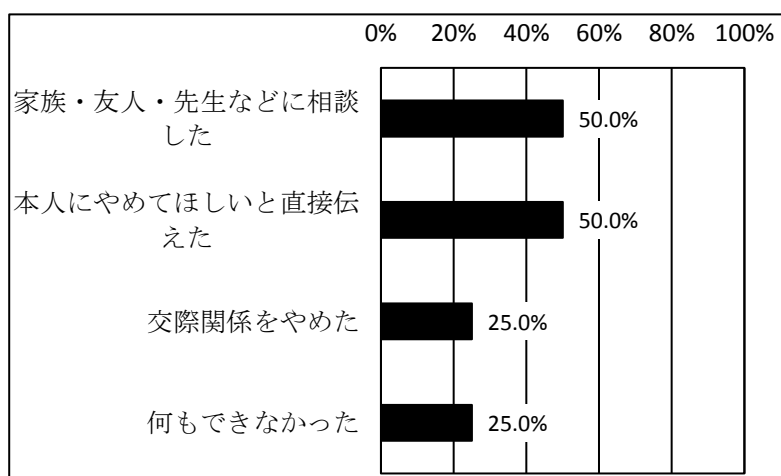


問6-1. あると回答した人に質問します。デートDVと思われる行為を受けたときに、どのような対応をしましたか。(複数回答)

5割の生徒が「家族・友人・先生などに相談した」、「本人にやめてほしいと直接伝えた」と回答しました。

	人数(人)	割合(%)
家族・友人・先生などに相談した	2	50.0
本人にやめてほしいと直接伝えた	2	50.0
交際関係をやめた	1	25.0
何もできなかった	1	25.0

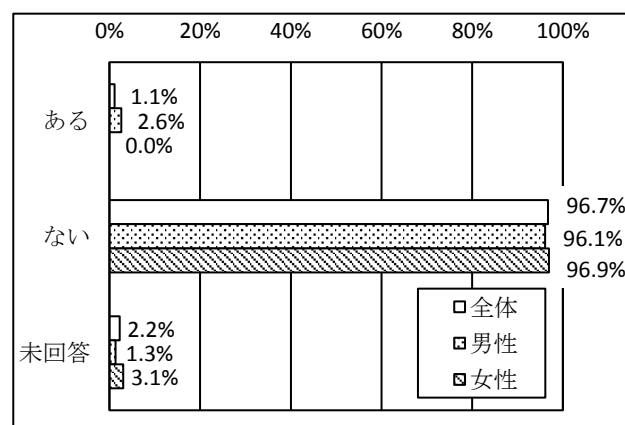
※問6で「ある」と回答した4人に対する割合



問7. あなたの友人やクラスメートが、デートDVと思われる行為を受けているのを見たり聞いたりしたことがありますか。

9割以上の生徒が「ない」と回答しました。

	全体		男性		女性	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
ある	2	1.1	2	2.6	0	0.0
ない	172	96.7	73	96.1	95	96.9
未回答	4	2.2	1	1.3	3	3.1
計	178	100	76	100	98	100



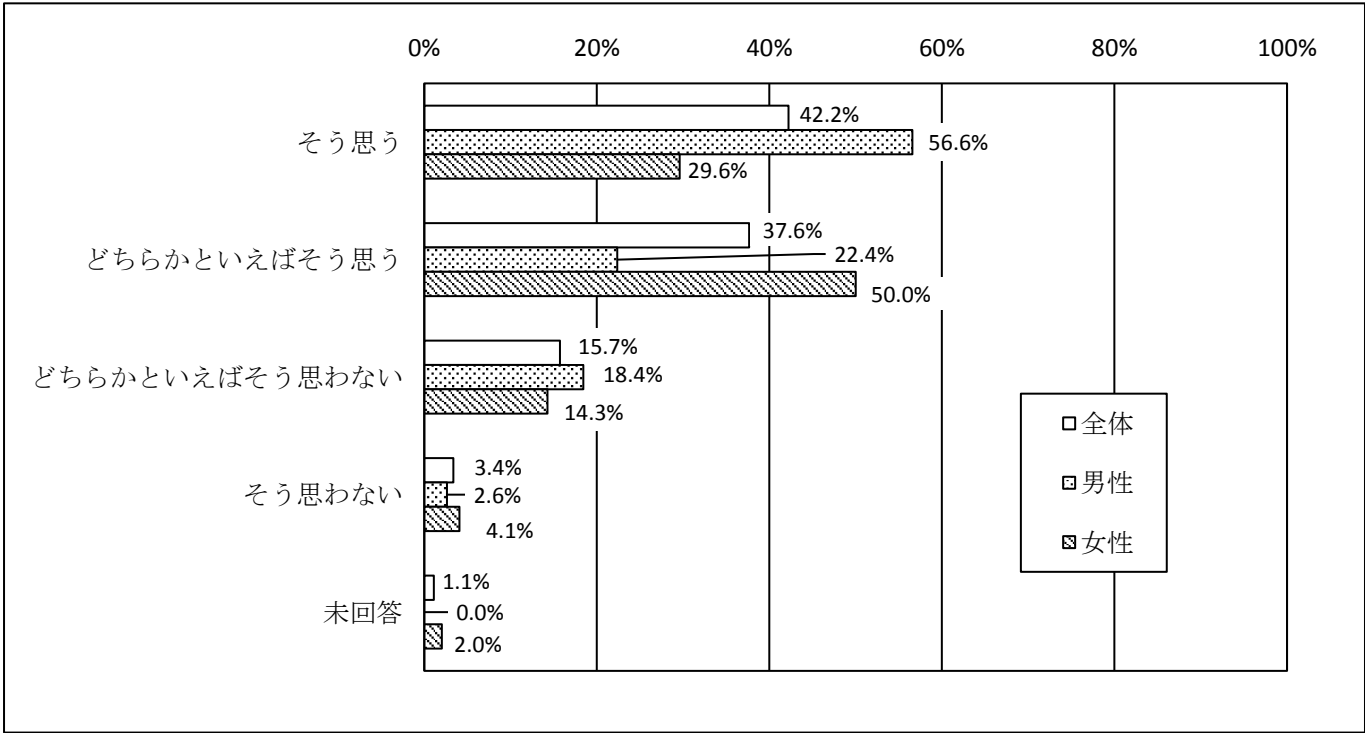
・DV行為に対する意識について

問8. あなたは、夫婦や恋人同士で起こる次のようなことをDV行為だと思いますか。

(1)何を言っても無視する

約8割の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答し、男女間の差はほとんどありません。

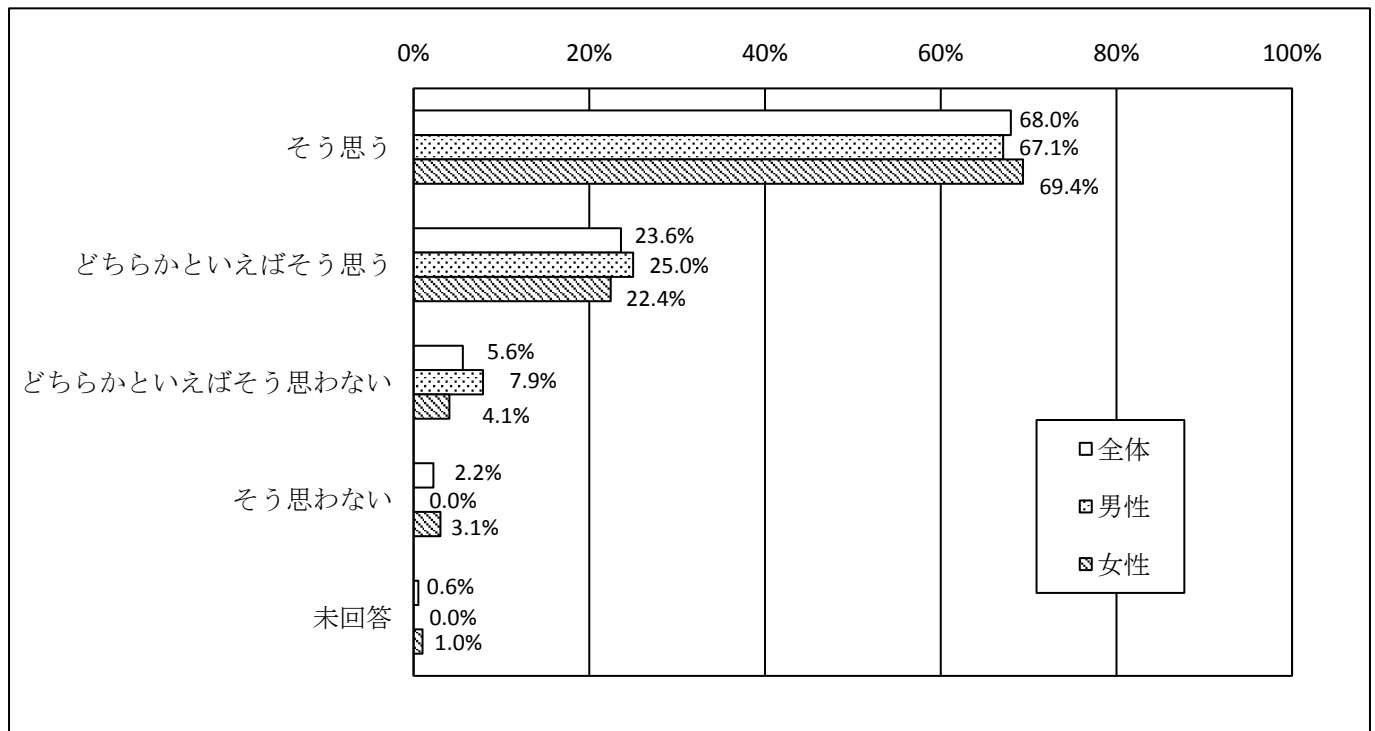
	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	75	42.2	79.8	43	56.6	79.0	29	29.6	79.6
どちらかといえばそう思う	67	37.6		17	22.4		49	50.0	
どちらかといえばそう思わない	28	15.7	19.1	14	18.4	21.0	14	14.3	18.4
そう思わない	6	3.4		2	2.6		4	4.1	
未回答	2	1.1		0	0.0		2	2.0	
計	178	100		76	100		98	100	



(2) 大声でどなる

約9割の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答しています。男女間の差はほとんどありません。

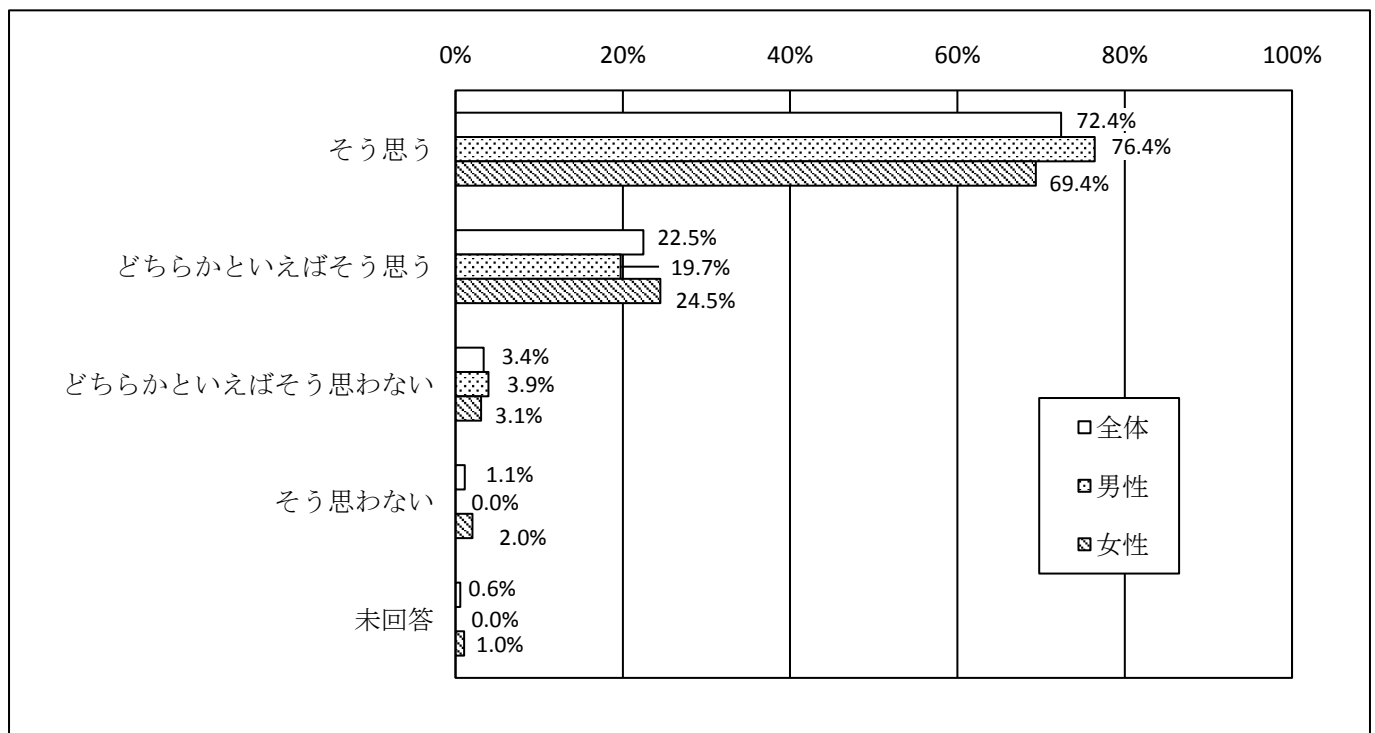
	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	121	68.0	91.6	51	67.1	92.1	68	69.4	91.8
どちらかといえばそう思う	42	23.6		19	25.0		22	22.4	
どちらかといえばそう思わない	10	5.6	7.8	6	7.9	7.9	4	4.1	7.2
そう思わない	4	2.2		0	0.0		3	3.1	
未回答	1	0.6		0	0.0		1	1.0	
計	178	100		76	100		98	100	



(3)相手の携帯電話をチェックして、異性の連絡先を消せと言う

9割以上の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答し、男性の割合が高くなっています。

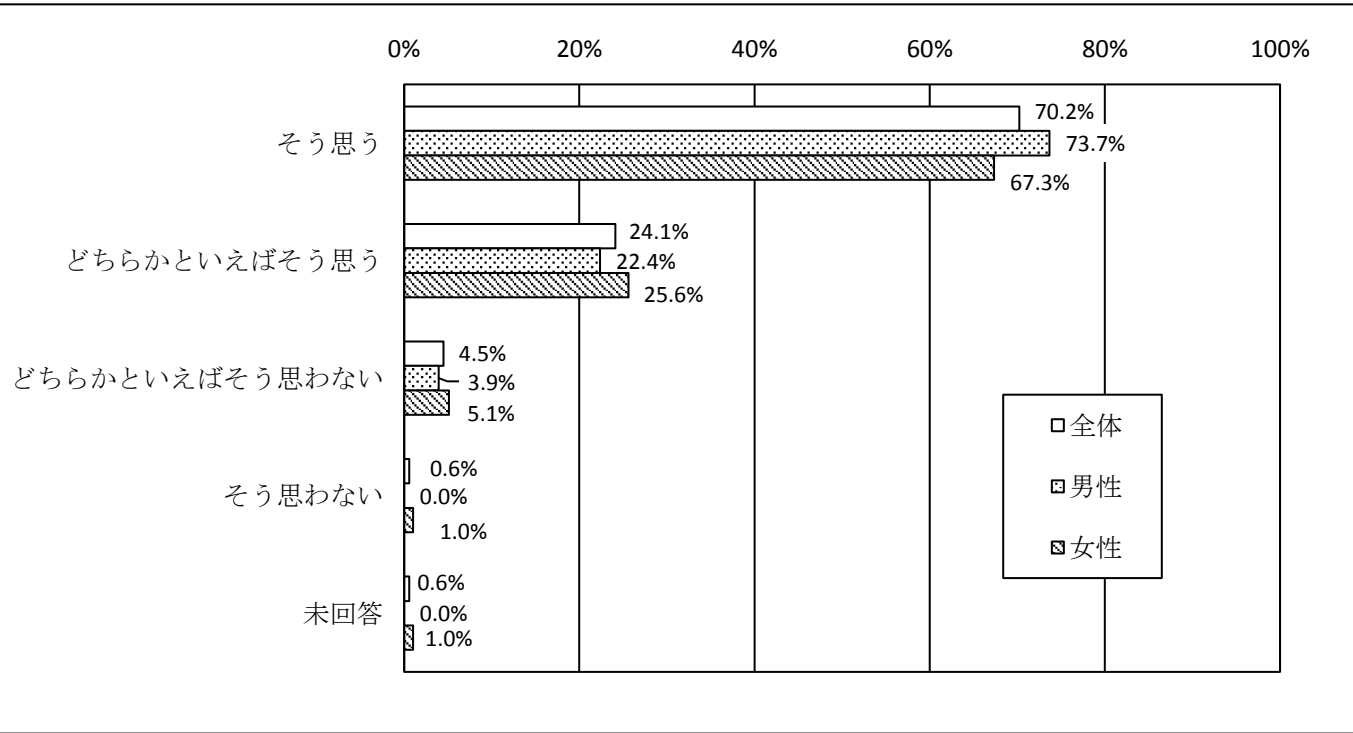
	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	129	72.4	94.9	58	76.4	96.1	68	69.4	93.9
どちらかといえばそう思う	40	22.5		15	19.7		24	24.5	
どちらかといえばそう思わない	6	3.4	4.5	3	3.9	3.9	3	3.1	5.1
そう思わない	2	1.1		0	0.0		2	2.0	
未回答	1	0.6		0	0.0		1	1.0	
計	178	100		76	100		98	100	



(4)しょっちゅう電話をしたり、相手の行動を制限しようとする

9割以上の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答し、男性の割合が高くなっています。

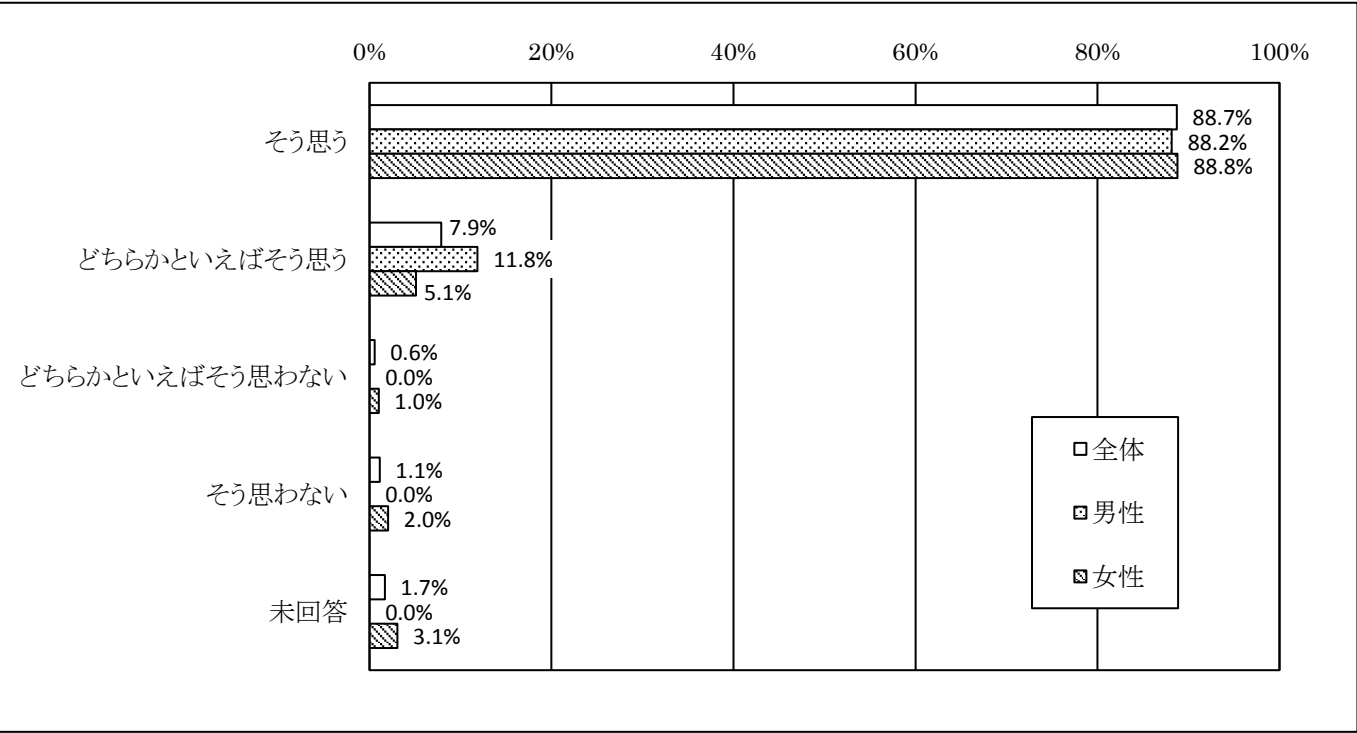
	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	125	70.2	94.3	56	73.7	96.1	66	67.3	92.9
どちらかといえばそう思う	43	24.1		17	22.4		25	25.6	
どちらかといえばそう思わない	8	4.5	5.1	3	3.9	3.9	5	5.1	6.1
そう思わない	1	0.6		0	0.0		1	1.0	
未回答	1	0.6		0	0.0		1	1.0	
計	178	100		76	100		98	100	



(5)お金を取り上げる

9割以上の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答し、男性は10割が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答しました。

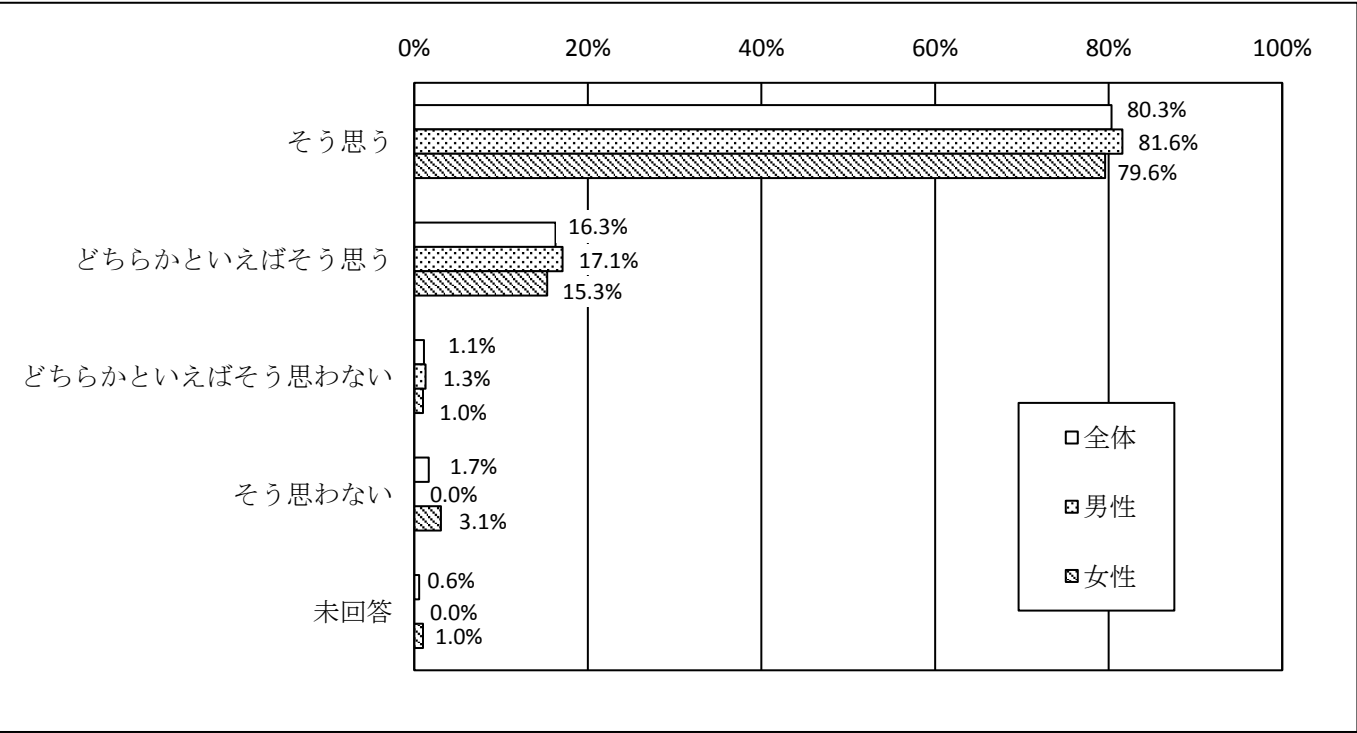
	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	158	88.7	96.6	67	88.2	100	87	88.8	93.9
どちらかといえばそう思う	14	7.9		9	11.8		5	5.1	
どちらかといえばそう思わない	1	0.6	1.7	0	0.0	0.0	1	1.0	3.0
そう思わない	2	1.1		0	0.0		2	2.0	
未回答	3	1.7		0	0.0		3	3.1	
計	178	100		76	100		98	100	



(6)なぐるふりをしておどす

9割以上の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答し、男性の割合が高くなっています。

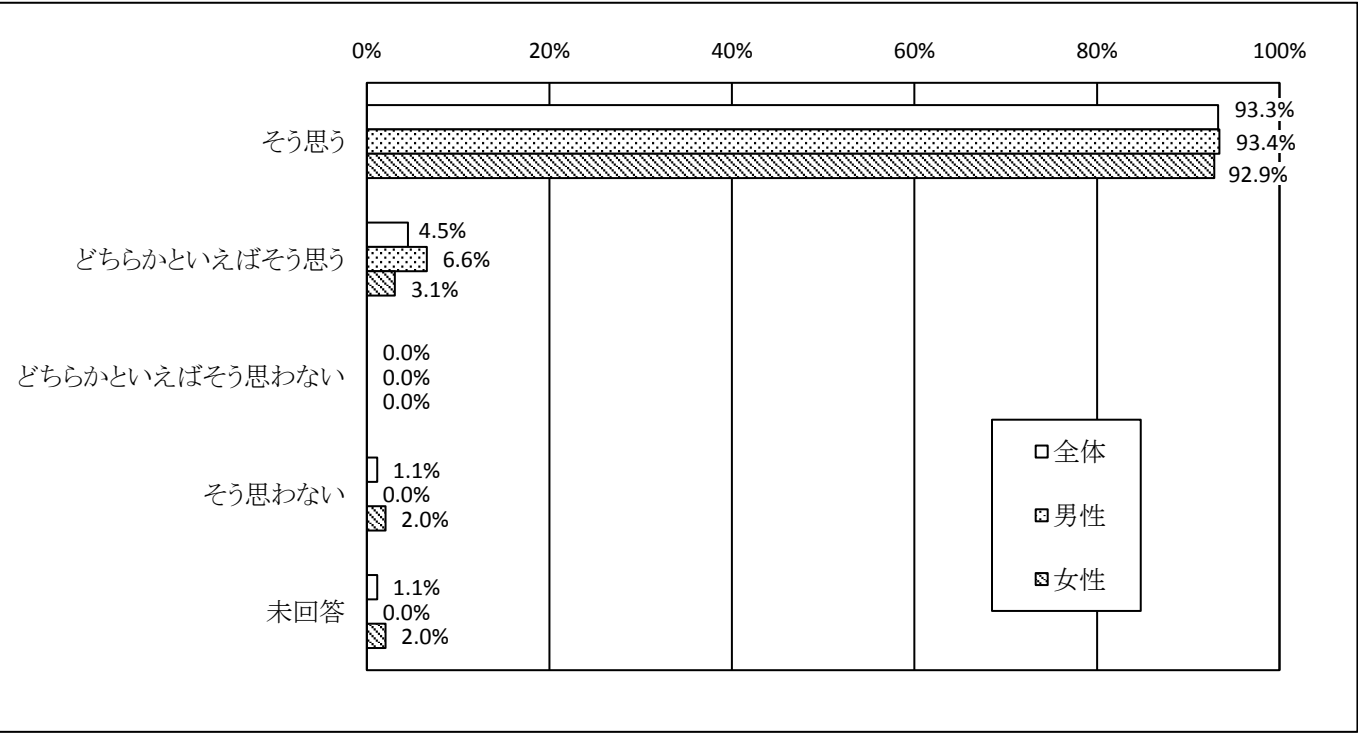
	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	143	80.3	96.6	62	81.6	98.7	78	79.6	94.9
どちらかといえばそう思う	29	16.3		13	17.1		15	15.3	
どちらかといえばそう思わない	2	1.1	2.8	1	1.3	1.3	1	1.0	4.1
そう思わない	3	1.7		0	0.0		3	3.1	
未回答	1	0.6		0	0.0		1	1.0	
計	178	100		76	100		98	100	



(7)ものを投げつける

9割以上の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答し、男性は10割が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答しました。

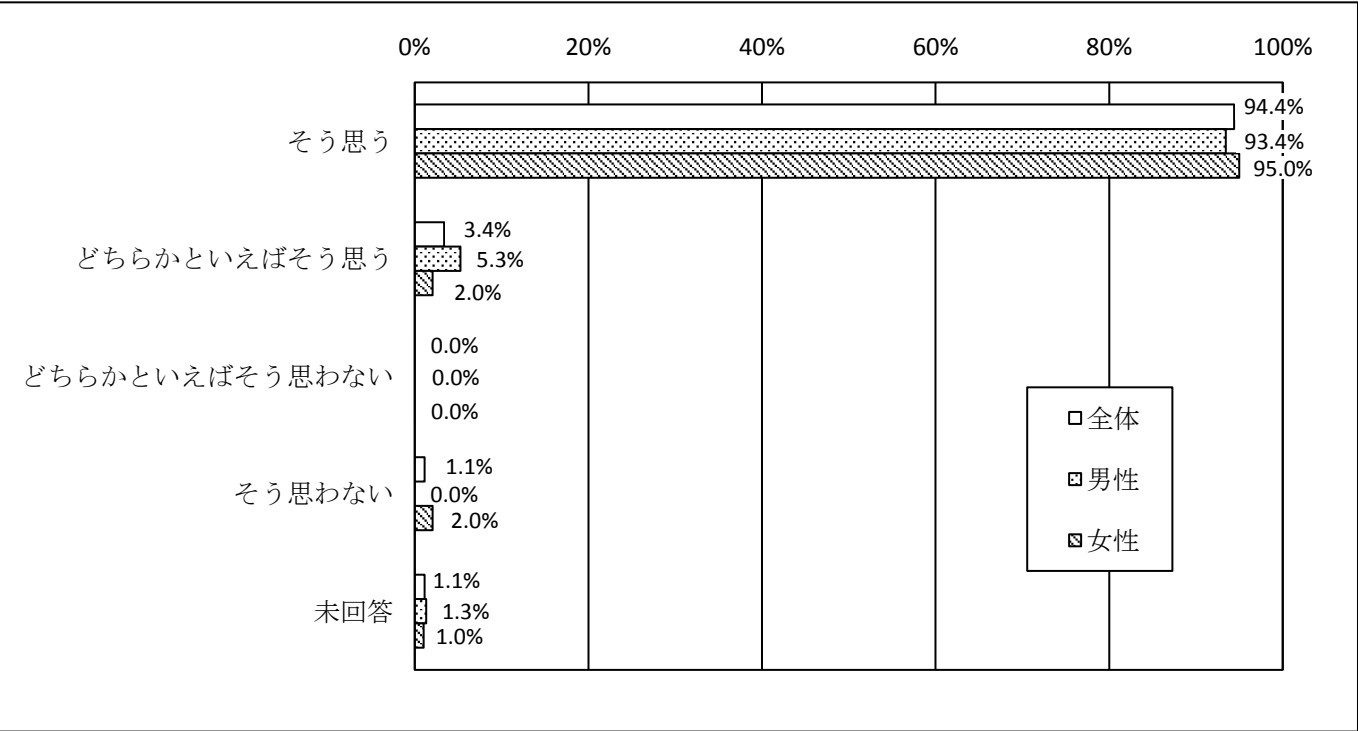
	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	166	93.3	97.8	71	93.4	100	91	92.9	96.0
どちらかといえばそう思う	8	4.5		5	6.6		3	3.1	
どちらかといえばそう思わない	0	0.0	1.1	0	0.0	0.0	0	0.0	2.0
そう思わない	2	1.1		0	0.0		2	2.0	
未回答	2	1.1		0	0.0		2	2.0	
計	178	100		76	100		98	100	



(8) 身体を傷つける可能性のある物でたたく

9割以上の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答し、男女間の差はほとんどありません。

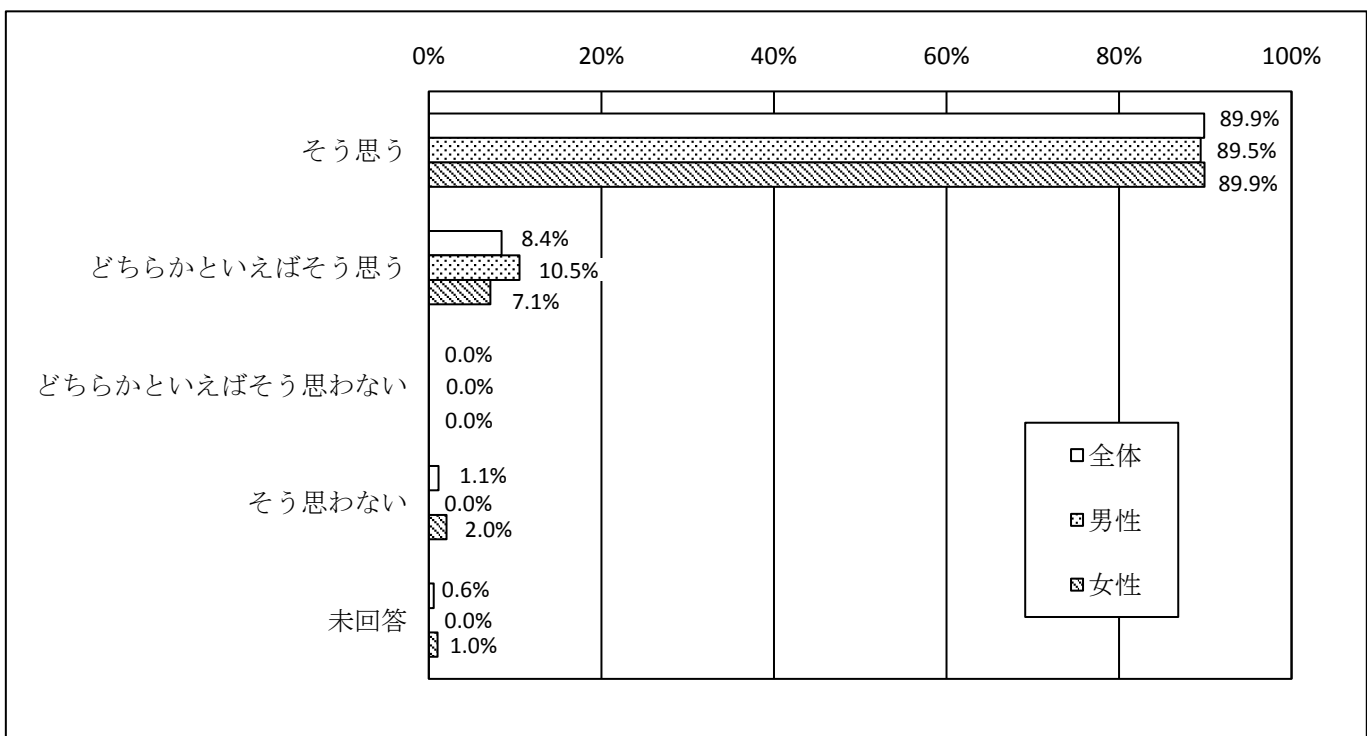
	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	168	94.4	97.8	71	93.4	98.7	93	95.0	97.0
どちらかといえばそう思う	6	3.4		4	5.3		2	2.0	
どちらかといえばそう思わない	0	0.0	1.1	0	0.0	0.0	0	0.0	2.0
そう思わない	2	1.1		0	0.0		2	2.0	
未回答	2	1.1		1	1.3		1	1.0	
計	178	100		76	100		98	100	



(9)相手が嫌がっているのに、無理やり体を触ったりする

9割以上の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答し、男性は10割が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答しました。

	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	160	89.9	98.3	68	89.5	100	88	89.9	97.0
どちらかといえばそう思う	15	8.4		8	10.5		7	7.1	
どちらかといえばそう思わない	0	0.0	1.1	0	0.0	0.0	0	0.0	2.0
そう思わない	2	1.1		0	0.0		2	2.0	
未回答	1	0.6		0	0.0		1	1.0	
計	178	100		76	100		98	100	



※DV行為の種類

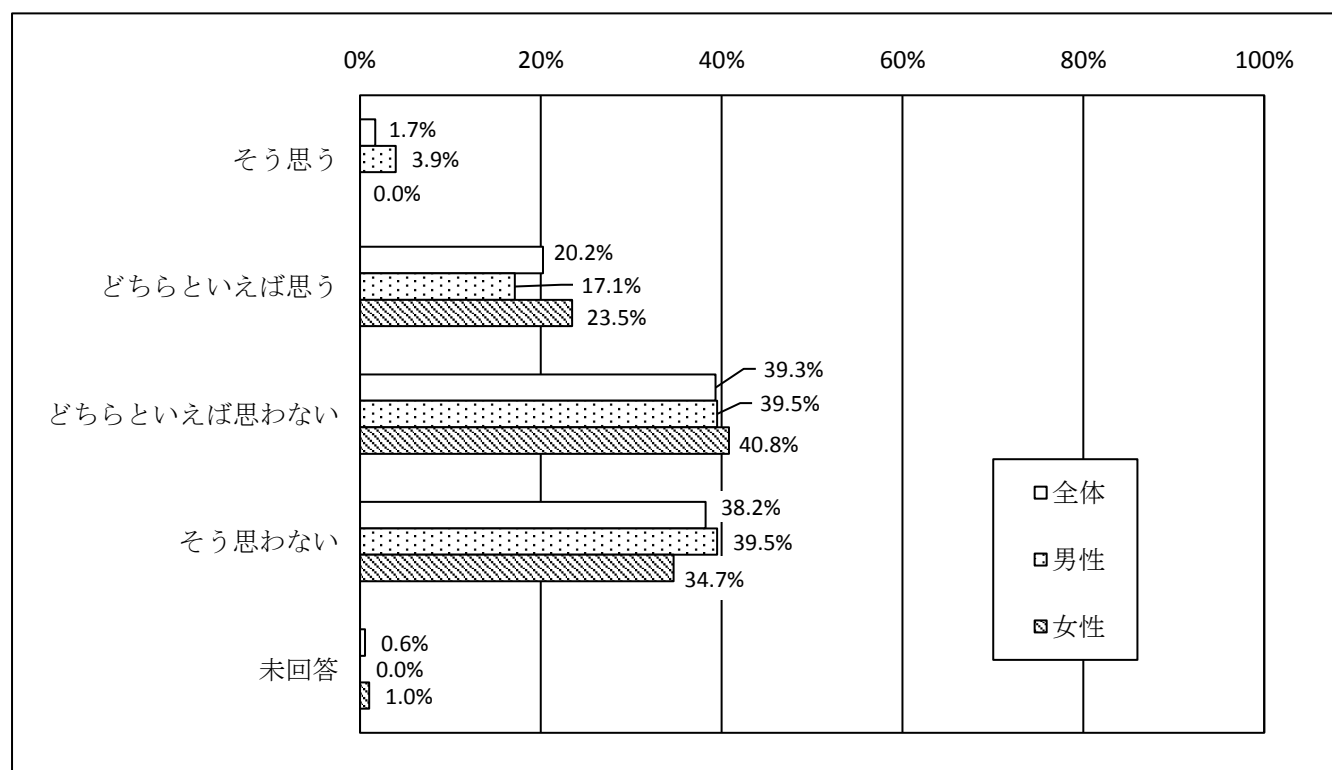
1. 身体的暴力：相手に物を投げる、叩くなど
2. 心理的感情的暴力：汚い言葉を言う、無視する、嫌がらせ、ストーキング、頻繁に電話をかけてくる、過剰な嫉妬など
3. 性的暴力：自主的な承諾なしのあらゆる性的な物理的接触
4. 経済的暴力：お金を貢がせる、お金を借りて返さないなど

問9. 次の考え方について、あなたの考え方に一番近いものに○をつけてください。

(1) DV行為を受けるのは、DV行為を受けるほうにも悪いところがあるからだ

7割以上の生徒が「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答し、男性の割合が高くなっています。

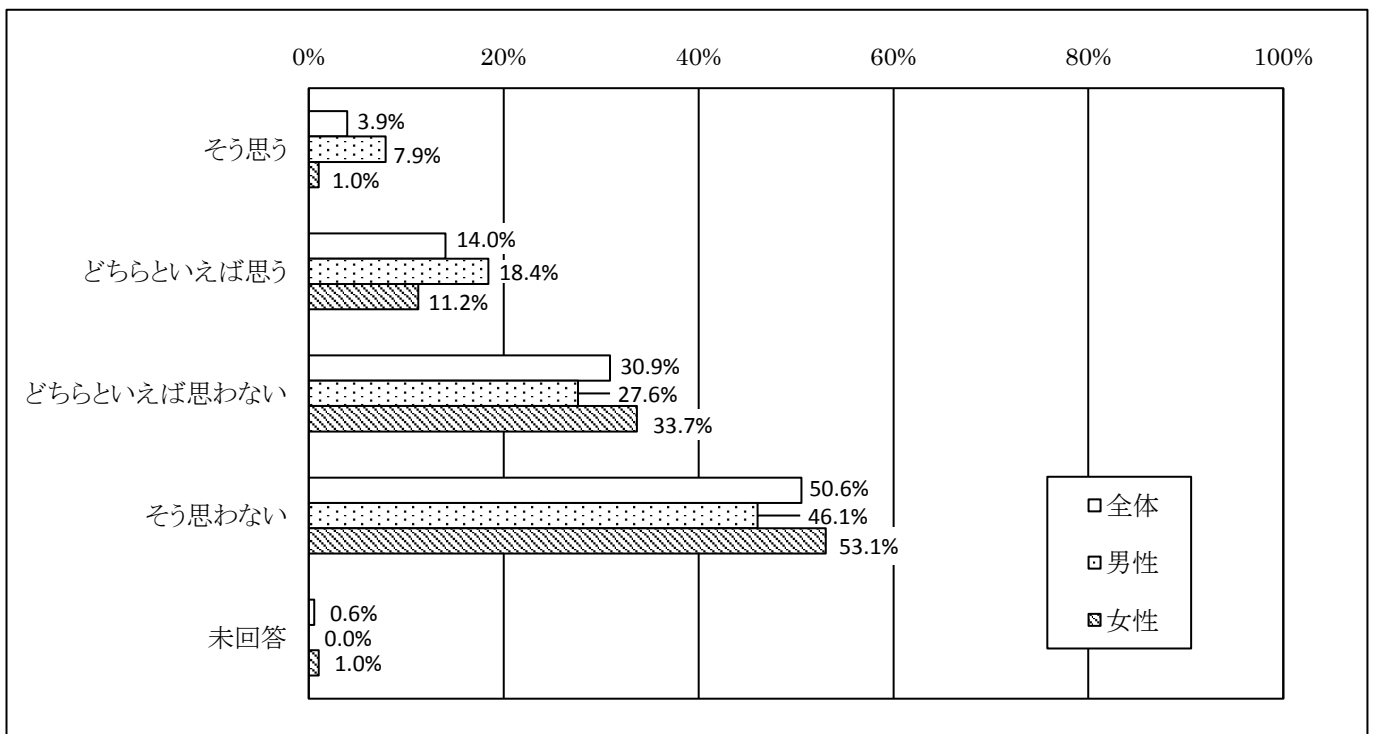
	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	3	1.7	21.9	3	3.9	21.0	0	0.0	23.5
どちらかといえばそう思う	36	20.2		13	17.1		23	23.5	
どちらかといえばそう思わない	70	39.3	77.5	30	39.5	79.0	40	40.8	75.5
そう思わない	68	38.2		30	39.5		34	34.7	
未回答	1	0.6		0	0.0		1	1.0	
計	178	100		76	100		98	100	



(2)家の中で起こるDVは、家庭内で解決すべきだ

約8割の生徒が「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答し、女性の割合が高くなっています。

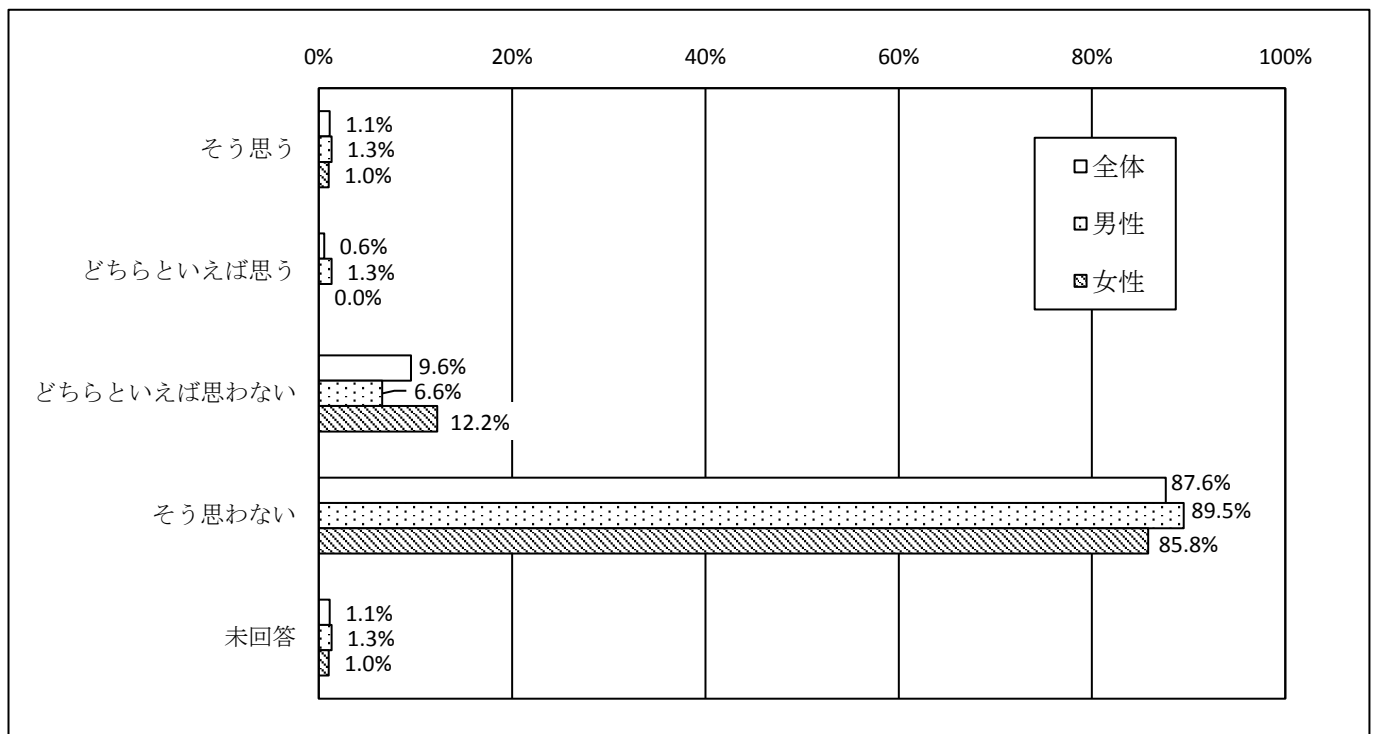
	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	7	3.9	17.9	6	7.9	26.3	1	1.0	12.2
どちらかといえばそう思う	25	14.0		14	18.4		11	11.2	
どちらかといえばそう思わない	55	30.9	81.5	21	27.6	73.7	33	33.7	86.8
そう思わない	90	50.6		35	46.1		52	53.1	
未回答	1	0.6		0	0.0		1	1.0	
計	178	100		76	100		98	100	



(3) 男性が暴力的なのは、男らしさの証である

9割以上の生徒が「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答し、女性の割合が高くなっています。

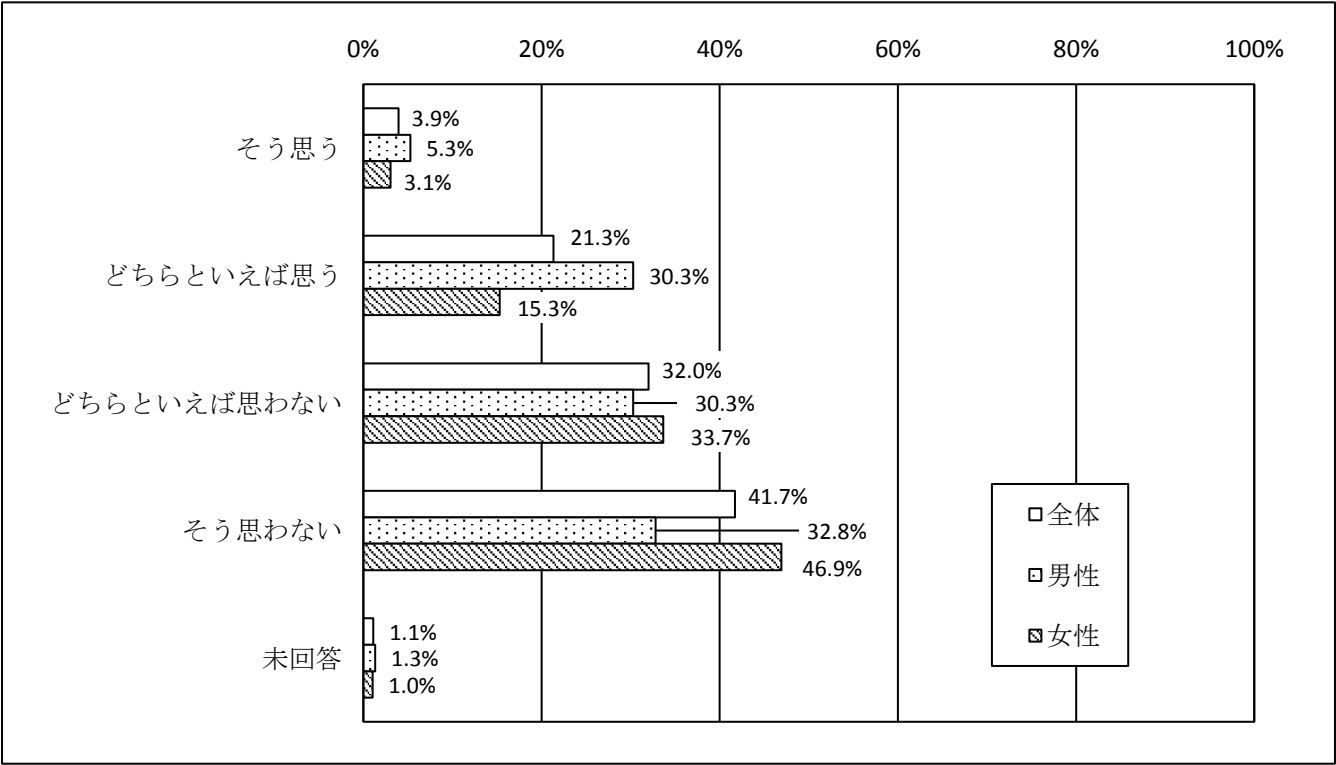
	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	2	1.1	1.7	1	1.3	2.6	1	1.0	1.0
どちらかといえばそう思う	1	0.6		1	1.3		0	0.0	
どちらかといえばそう思わない	17	9.6	97.2	5	6.6	96.1	12	12.2	98.0
そう思わない	156	87.6		68	89.5		84	85.8	
未回答	2	1.1		1	1.3		1	1.0	
計	178	100		76	100		98	100	



(4)DV行為を受けても話し合いで解決できるはずだ

約7割の生徒が「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答し、女性の割合が高くなっています。

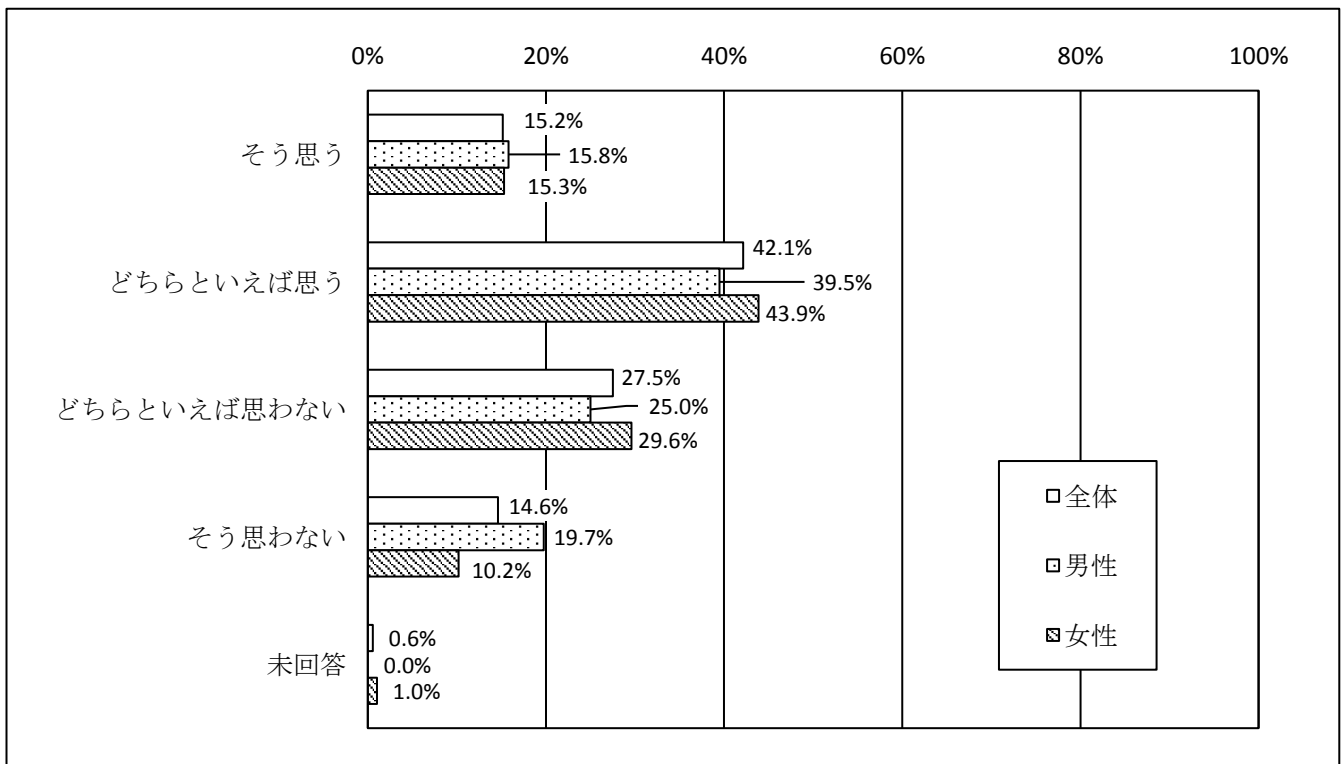
	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	7	3.9	25.2	4	5.3	35.6	3	3.1	18.4
どちらかといえばそう思う	38	21.3		23	30.3		15	15.3	
どちらかといえばそう思わない	57	32.0	73.7	23	30.3	63.1	33	33.7	80.6
そう思わない	74	41.7		25	32.8		46	46.9	
未回答	2	1.1		1	1.3		1	1.0	
計	178	100		76	100		98	100	



(5) 女性に対するDVの背景には女性差別がある

5割以上の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答し、女性の割合が高くなっています。

	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	27	15.2	57.3	12	15.8	55.3	15	15.3	59.2
どちらかといえばそう思う	75	42.1		30	39.5		43	43.9	
どちらかといえばそう思わない	49	27.5	42.1	19	25.0	44.7	29	29.6	39.8
そう思わない	26	14.6		15	19.7		10	10.2	
未回答	1	0.6		0	0.0		1	1.0	
計	178	100		76	100		98	100	



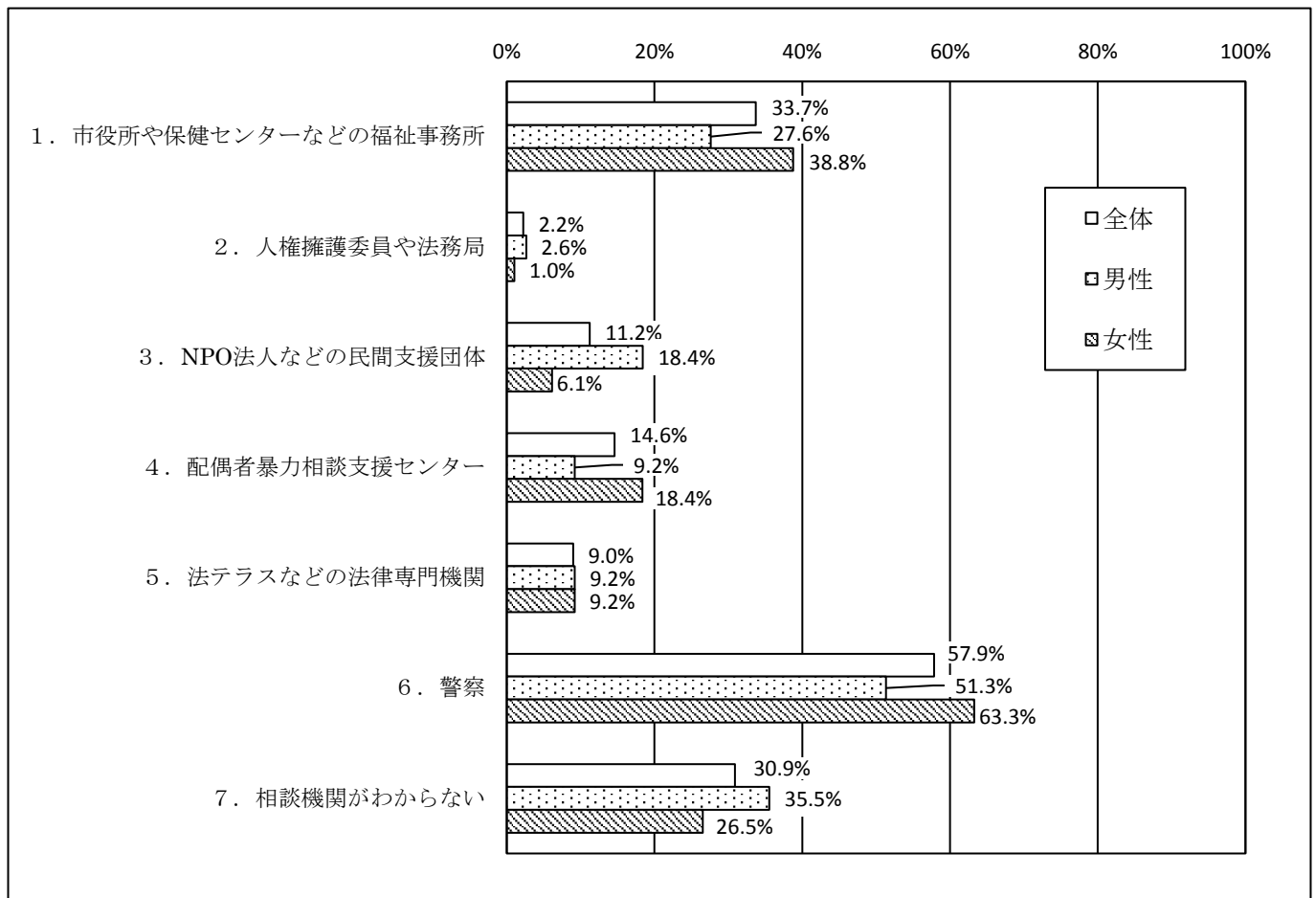
・DV行為に関する相談機関について

問10. あなたは、デートDV等に関する相談機関を知っていますか。(複数回答)

「警察」の割合が最も高く、5割以上の生徒が回答しました。次いで「市役所や保健センターなどの福祉事務所」の割合が高くなりました。

	全体		男性		女性	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
市役所や保健センターなどの福祉事務所	60	33.7	21	27.6	38	38.8
人権擁護委員や法務局	4	2.2	2	2.6	1	1.0
NPO 法人などの民間支援団体	20	11.2	14	18.4	6	6.1
配偶者暴力相談支援センター	26	14.6	7	9.2	18	18.4
法テラスなどの法律専門機関	16	9.0	7	9.2	9	9.2
警察	103	57.9	39	51.3	62	63.3
相談機関がわからない	55	30.9	27	35.5	26	26.5

※全体、男性、女性の各割合は、それぞれの生徒数に対する割合



・性別に関わらず、生きやすい社会にするために必要なことについて

問11. あなたは、「女性にとっても男性にとっても生きやすい社会」にするためにはどのようなことが必要だと思いますか。(自由回答)

男女平等な社会づくり

- ・体の作りの関係上、女性にはできて男性にはできない、男性にはできて女性にはできないことはあると思うので、そこは割り切ってそれ以外のところはできるだけ平等にしていこう。
- ・男女が平等に生活できるためには、まず職業や家庭などで男が働いて女が家事をするなどの風習を見直すべきだと思う。また、介護の世話を女性ばかりがやるのではなく、女性も男性も共同して高齢者を介護することが必要だと思うので、もっと平等な世の中になってほしい。
- ・両者の意見を取り入れることと、「男性だからできる」や「女性だからできる」といった考え方を無くす必要がある。
- ・育児で女性だからとか男性だからという考えを無くす。日本の職場は男性が育児休業をとりにくい（例えば育休をとるのに男性だけ理由を聞かれるところもある）から、そこから変えないと考えが変わらないと思う。
- ・「女性はこうあるべき、男性はこうあるべき」と昔ながらの考えを捨てて、個人個人が楽しく生活できる環境が必要だと思う。
- ・仕事上の差別や優遇がある限り、女性と男性にとっての生きやすい社会にはならない。
- ・差別をしないで女性、男性どちらも活躍できる場を設けた方がよい。
- ・女性だから〇〇するべきとか男性だから〇〇しないといけないという考えを無くす。
- ・両者の意見を取り入れることと、男性だからできるや女性だからできるといった考え方を無くす必要がある。

男女がお互いを理解し尊重し合う、思いやる

- ・お互いの立場に立って、お互いで支えあっていくことが男女ともに生きやすい社会だと思う。
- ・互いの偏見や差別を無くし、相手の意見を尊重できるように一人一人がなっていかなければならないと思う。「女は弱い」や「女は力がない」、逆に「男の方が強い」などの性別的な力の差とかを表に出してはいけないと思う。そういう考えがあるからこそ、男性が強い力を使って力のない弱い女性を攻撃してしまうのだと思う。人の価値観はそう簡単には変えられるものではないから、時間をかけてゆっくり良い社会形成ができたらいと思う。
- ・相手に自分の意見、考え方を強要するのをやめること。お互いの気持ちを考えて行動、言動すること。
- ・相手のことを理解しつつ、尊重することが必要だと思う。
- ・固定的な考え方を無くしていく必要があると思う。捉え方、感じ方、思っていることは人それぞれなので、相手のことも考慮しつつ自分の意見を伝えるべきだと思う。
- ・男性も女性もお互いを尊重しあっていくべきだと思う。
- ・それぞれが持っている異性に対しての偏見をなくしていく必要があると思う。自分の気持ちを伝えることや相手の意見を尊重することでよりよい社会になると思う。
- ・女性も男性も性別にかかわらず、お互いのことを尊重し、認め合うことが必要だと思う。他にも、ケンカなどをしたらどちらかが折れないと終わらないので、そのような優しい心も必要だと思う。
- ・お互いの意見をしっかり伝え、感情的にならず話し合う。そして暴力を認めず相手や自分を大切にすることが必要だと思う。

その他

- ・仕事を在宅でできるような会社が増えることが必要。
- ・男性と女性の差別が完全に無くなり、平等に扱われる社会よりは、男性と女性それぞれが安心できる制度やサービスがある社会の方が良い。ただ、「女性だから料理はできるよね。」とか「男性だから力仕事」のような決めつける差別は無くなってほしいと思う。
- ・結婚して子どもが出来た時や両親の介護が必要になった時に、男性、女性がどちらも育児、介護休業を気軽に利用できるようにする。会社側の工夫も必要になる。もちろん、女性、男性それぞれにしかできないこともあるが、できるだけ「女性（男性）だから…」という差別的な発言をしない。
- ・今では減ってきているが、まだ男女の差別が問題となっている。人は皆平等なので、もっと固定的な考えから変えていく必要があると思う。
- ・差別を無くすことが第一歩だと思う。昔に比べ格段に減ってはきているものの、男女の差別意識はまだあると思う。完全に平等にするのは難しいと思うが、いろいろな面から改善していけば良いと思う。
- ・男女共に互いを認め合い、個性を尊重すべきだと思う。男性・女性のそれぞれの得意・不得意の違いは大きいと思うが、そういう時こそ互いの苦手な部分を補い合い、生活していくことが大切だと思う。「LGBT」というものが最近多くなっているが、気持ち悪いと思ったりはしない。これだって人それぞれの個性だから、差別するようなことは一つもないと思う。もっと全国的にも世界的にも「LGBT」のことを広めて知ってもらい、認めてもらえるような世界になってほしいと思った。
- ・男女差別を考えず、男子にも女子にも活躍する場所があること。